

ノロウイルスの対策（南部連盟）

<予防>

うがい、手洗い

<嘔吐物、下痢便の処理>

用意するもの

ポリバケツ、使い捨てマスク、使い捨てビニール手袋、使い捨てエプロン、新聞紙、雑巾、
ゴミ袋（半透明、大と小）
塩素系の消毒剤（商品名：ピューラックス、ミルトンなど）
家庭用漂白剤（商品名：ハイター、ブリーチなど）

手順

- ① 嘔吐物に新聞紙を被せ、消毒液（※）をかける。
- ② 次に新聞紙後と取り去って廃棄し、雑巾でふき取る。
- ③ その周辺3～5メートル四方に新聞紙を敷き、消毒液をかけ、4～5分置いてから取り去る。
- ④ そのまま約30分ほど放置しておく。（その後、活動を再開）

※消毒液：次亜塩素酸ナトリウム0.02%以上
市販の漂白剤は次亜塩素酸ナトリウム約5%が多いようです。（必ず確認！）
これを200倍に薄めます。（2ℓに10ml→ペットボトルのキャップ2杯が目安）

注意事項

- ① 嘔吐物や下痢便の処理をする前に、まず処理にあたる人以外の方を遠ざけてください。
処理の際に吸い込むと感染してしまうおそれのある飛沫（ひまつ）が発生します。
少なくとも他の人は3メートルは遠ざかってください。
- ② 必ずマスク、手袋をしっかりと着用します。
雑巾、タオル等で吐物、下痢便をしっかりとふき取ってください。
ふき取った雑巾、タオルはビニール袋に入れて密封し、捨ててください。
- ③ 消毒後は体育館内を換気良くしてください。
- ④ 嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、マスクと手袋をした上でバケツやたらいなどでまず水洗いし、
消毒液で消毒することをお勧めします。

いきなり洗濯機で洗うと、洗濯機がノロウイルスで汚染され、他の衣類にもウイルスが付着します。
・85℃・10分以上の熱水洗濯を行う。（しぶきを吸い込まない等、二次感染への注意が必要）

・熱水洗濯が行えない場合には、洗剤を入れた水の中でウイルスが飛び散らないように静かにもみ洗いし、
（塩素濃度200ppm）の消毒が有効（十分すぎ、高温の乾燥機などを使用すると殺菌効果が高まる）

また、もみ洗った石けん液には次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度1000ppm以上）を加えて、
10分以上置いたのち、捨てること。）。

※可能であれば、ふん便・吐物が付着した衣類は、もみ洗いをせず、次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度1000ppm以上）
に漬け置きの方が洗濯時の二次感染を防ぐ上で好ましい。